



2017.5.14. マリア祭

「イエスの御心の協力者たち」

協力司祭 デイインド・サンティアゴ

「置かれたところで咲きなさい」ということは、シスター渡辺和子のおかげでより広く知られるようになったが、英訳の「Blooming where you are planted」は、日本に来る前から私の好きなことばの一つだった。振り返ってみれば、私はいろいろな所に置かれ、神様の恵みによって自分なりに咲かせていただいたことに気づく。二〇〇一年に神学生として来日し、二年間の日本語の勉強を終えて神言神学院に移り、南山大学で神学の勉強を続けた。卒業後、二〇〇五年十月八日に、この南山教会で司祭叙階の恵みを受け、家族や神言会兄弟会員など、多くの方々の祈りの中に見守られ、司祭としての一歩を踏み出した。南山短大で教壇に立ちながら召命募集担当者の初任命を受けたのち、東京の吉祥寺教会に助任司祭として派遣された。小教区で六年間経験を積みながら、楊神父とともに楽しい思い出をたくさん作ることができた。二〇一三年の復活祭後に名古屋に戻り、宣教事務局、南山短大、多治見教会、神言神学院、名古屋教区の様々な仕事の中に、充実した日々をいただいた。あつという間に時が過ぎ、二〇一七年度の任命が決定し、私は南山教会の協力司祭となった。

叙階の恵みによって新たな出発点となった南山教会に戻ってきた。司祭になって十二年

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

目になつた今、協力司祭として「原点に立ち返れ」と言われているような気がした。「初心忘るべからず」、新司祭の頃の熱意と志、緊張を忘れずに。

さらに「協力」という文字は、神様が私に大切なメッセージを語ろうとしている気がした。辞書を引くと「協力」とは、「力を合わせる、心を合わせる、一緒に、手助けする、調える、和らげる、集める」という意味が書かれている。まさに、私に今求められることは、これだ！と強く感じた。そして、「十」+「効」+「力」と並ぶ漢字の形を見れば見るほど、私へのメッセージが伝わってくる。

もともと「十」という数字が十字架に見えた。すると、十字架のそばに小さな自分と他の兄弟たちと共に十字架(イエス)のもとに集まれば、それぞれは小さな力であつても、大きな力になる。十字架を共に背負い、兄弟と共に力を合わせれば、大きな力を生み出す。

また、イエスの十字架からいただく数々の力を大きな力に変えていく。と、次々にいろいろなことが頭に浮かんでくる。言うまでもなく、その大きな力とは、十字架から示された神様の大きな愛である。

イエスの御心を祝う六月に、みんな一人ひとりが持っている愛の力を、たとえ小さくても、惜しみなく分ち合えば、大きな愛の力になる。十字架からあふれ出る神様の愛によつて、私たちは生かされる。「キリストの愛に駆り立てられている」私たちは、豊かに恵まれどこに置かれても必ず咲かせていただける。これからも、南山教会の司祭団をはじめ、共同体とともに力を合わせて務めていきたいと思う。よろしくお願ひいたします。

「イエスのみ心がすべての人の心の内に生きますように。」

アーノルド・ヤンセン

七種神父様の帰天にあたって

主任司祭 新立 大輔

南山教会の第六代主任司祭、ペトロ七種照夫神父様は、5月23日(火)午後3時52分、名古屋市中村区の名古屋第一赤十字病院にて帰天されました。享年82歳でした。南山教会の信徒の皆様には着任当初から、いや、任命が決まった当初から七種神父様のことでいろいろとご迷惑をおかけしたことを思います。かつてわたしたちの教会を導いてくださった神父様の最期をお世話しているというところでご理解いただき、本当に感謝しております。五反城教会で行われた通夜ならびに葬儀ミサには、南山教会からもたくさんの方が参列してくださり、またお祈りをいただきました。神父様の生前に病室を訪れ、神父様を見舞ってくださったかたもたくさんおられました。神父様に代わりまして、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

わたしにとっていちばん嬉しかったのは、わたしが南山教会に着任するにあたり、闘病生活の中で七種神父様が常にわたしたち南山教会と共に歩んでくださったことでした。神父様が亡くなる一週間前に、ある信徒の方が前月の月報なんさんの巻頭言を神父様の枕元で読んでくださったとき、神父

様はほんとうに嬉しそうな顔をしておられました。神父様が南山教会の主任司祭をつとめておられたとき、思いがけない主任司祭としての任命と、数々の苦労がある中で、他の教会では味わうことのできない大きな喜びを受けたことを思い起こし、その喜びが南山教会の中で今も続いていること、そしてその喜びが大きくなるうとしていることに嬉しさを覚えたのだろうと思います。わたしが未熟なこともあったのでしよう、神父様は病室のベッドの上でいつもわたしのことを、そして南山教会のことを気に留めてくださいました。新しい任命地で次々に舞い込む様々な苦勞と困難のうちにあるわたしの歩みのうちに、神父様はご自身の苦しみを歩むことによつてわたしと共に歩んでくださいました。七種神父様の南山教会での主任司祭の働きは30年以上前のことですので、これまでの人生を振り返るときにももしかしたら後回しになつてしまふかもしれない中で、毎日のように南山教会のことを思ってくださいましたことに、本当に感謝しています。

3月8日に七種神父様とわたしは、主治医から神父様が末期の癌であることを宣告されました。手術による回復の可能性が極めて低いことから手術を行うことをせず、残された時間を大切に生きる

ことをわたしたちは選択しました。そのために行ったのは、これまで入院していた豊明市の藤田保健衛生大学病院から名古屋市内の病院に転院し、残された時間をたたくさんの人と共に過ごすということでした。幸い末期癌の苦痛は最後まででなかったこともあり、神父様は病室を訪れるたくさんの人を迎え、残された時間を大切に過ごすことができました。

わたしは調子に乗って、神父様のご兄弟は当然なのですが、南山教会をはじめこれまで働かれた秋田教会、東京の吉祥寺教会、そして長崎の神学院まで、神父様の病状を知らせるフアックスを送信し、できるならばこれまで神父様と関わられた方々に来ていただくとうと考えました。その結果、北は北海道から西は九州まで、たくさんの方々が病室を訪れてくださいました。

その人数は多いときには一日二十人を超え、さすがに疲れるだろうなあと思っていたのですが、それでも出会う人ごとに「是非神父様を訪ねてあげてください」と伝えることを最後までやめませんでした。かわいそうだと思われた方もおられることと思います。しかし神父様は自らそのような疲れ

な生活をすることはもうなく、まして腸閉塞のため口からの食べ物もかかわらず、神父様は「何もしなければだんだん弱ってしまうだけ」という思い、そして「せつかく来てくれる人たちに元気な姿を見せたい」との思いから、毎日欠かさずリハビリ室に連れて行ってもらい、30分前後歩いておられました。自分に与えられた歩みを、つらいからと言って投げ出すことなく、むしろその苦しみ

に自らの交わりによってわたしたちのうちに喜びが生まれることを証しするために、自らの十字架をイエスと共に歩んでいったのだと思います。

先週の月曜日、つまり亡くなる前日には東京から、七種神父様の前に南山教会の主任をつとめられ、南山教会で七種神父様と共に過ごされた後藤文雄神父様が駆けつけてくださいました。もしかしたらお会いしたい方がまだおられたかもしれないが、だいたいの方、そして最後にかけて南山教会で共に過ごした後藤神父様にもお会いでき、満足されたからなのか、その後だんだん意識がなくなっていました。

亡くなる当日の朝に名古屋第一赤十字病院、つまり中村日赤の緩

和ケアセンターに入ることができましたが、入ってすぐの頃は穏やかにされていたものの、昼過ぎにはだいぶ苦しうにされてしまいました。付き添ってくださっていた信者の方にお昼ご飯に行ってもらって、病室には神父様とわたしの二人だけとなったとき、苦しみの中でわたしたちは祈りました。そのう、神父様は苦しみの中でも祈っているように見えました。荒い呼吸の中で、その呼吸に合わせて祈っているようでした。かつて呼吸の祈りを教えておられた神父様、吸う息と共に「イエス・キリスト」と唱え、吐く息と共に「わたしをあわれんでください」と祈っているようにわたしは感じました。苦しみの中であつて自らその苦しみの中に入っていくかたの神父様、最後の苦しみの中でもその苦しみを主キリストと共に歩んでおられました。神父様が最後まで主の道を歩み通すことができるよう、わたしは祈らずにはいられませんでした。

そして苦しみのうちにある七種神父様のもとに、信徒の方々が次々と訪れてくださいました。神父様の信仰と、そして神父様と共におられる信徒の方、また神父様の病気のうちにあつて神父様の病室を訪れてくださり祈ってください

さつたりして共に歩んでくださつた方の祈りが天に受け入れられた

のでしよう、神父様は父なる神への信仰のうちに天のもとへ旅立たれました。

十字架の苦しみのうちにあつてキリストは、父である神と共に歩んでくださるという信頼のうちに、父である神が与えられた道を歩み通したことによって復活の栄光を受け、今や天の父の右の座に

ついでおられます。そのキリストは弟子たちに、そしてわたしたちに「わたしは世の終わりまで、いつまでもあなたの方と共にいる」と仰せられました。洗礼と叙階の秘跡によって信仰の道をキリストとともに歩み、その使命を全うされた南山教会元主任司祭の七種神父様は、今や天の父のもとで永遠の安息に入られました。わたしたちも洗礼の恵みによってキリストと共に歩んでいる者として、そして南山教会において信仰生活を送っている者として、キリストに倣つて、そしてこれまで南山教会でわたしたちを導いてこられた神父様方、特に亡くなられた七種神父様

が生涯をささげて教えてくださった教えと祈りを大切にしながら、相互の交わりのうちに信仰の道を歩んでまいりましょう。「天に昇られたキリストはすべてを治めておられる」。キリストの体である教会、その中にわたしたちは、その

2017年度

丸尾寛道

ヨセフ会全体集会議事録

日時：5月14日(日)11時～12時

場所：マリア館ホール

司会：副会長 小池康弘

参加者数：28名

1. はじめの祈り 新立師

2. 司祭挨拶 新立師

3. ヨセフ会会長挨拶

2017年度会長 亀井孝文

(1) 司祭給与支給制度

(2) 建物：聖堂維持修繕、建替え、耐震補強、カトリック会館の処理

財務状態が悪く、備えがない。増収、経費節減を要する。

(3) 美化活動 毎月の清掃活動 自主参加を求めたい。

市外居住者のごみ持ち帰り効果があったので、引き続き強化したい。

4. 2016年度活動報告会計 報告

2016年度会長

小池康弘

2016年度会計

5. 2017年度役員等の紹介
(1) 役員(会長、副会長、書記、会計)について
会長 亀井孝文
副会長 小池康弘

会計 二村清治
書記 丸尾寛道

(2) 各班の班長について

1班 大川 隆

2班 増子 仁

3班 森 直樹

4班 倉井 三吉

5班 酒井 良雄

6班 濱口 吉宏

7班 成井 元太

8班 安井 達

(3) 信徒協委員(兼 城東ブロック担当)について
松田 征雄 小塚 充雄

会長より提案 覚書について。

他の役職については毎年半年分の交代だが、正副会長は2年毎総入れ替えなので、連続性に疑問がある。毎年半分交代を提案したい。

6. ヨセフ会の班名簿

名簿については、不十分であるので、再度整備する。

7. 2017年度活動および予算について

(1) 2017年度ミサ当番表(12月)

(2) 2017年度活動予定

救急講習会と避難訓練の積極的参加を求めたい。

バザー実行委員会 山本委員長で確認済み。

バザー時ステージ設営とブルーシート使用を取りやめ一昨年までと同様平針教会からテントを借用するよう、実行委員会で検討する。

(3) 2017年度予算

8. その他

インターナショナルミサ手伝いをヨセフ会の活動として、明記してはどうか。

新立師：正式名称は「子供と共に捧げるインターナショナルミサ」であり、小教区を超える行事への協力は、参加者、司教に強い印象を与える。



運営委員長：教区主催であり、ヨセフ会マリア会に限定せず教会全体で参加すべきもの。副会長：班長以外も参加してほしい。
教会美化に関して、旧ボーイスカウトは解団したが、新ボーイスカウトの協力が得られる。予算について、敬老の日の昼食代はマリア会との均衡を考慮



北島神父様講話

6月2日(金) マリア会例会
 では一時帰国中の北島神父様に
 講話頂く機会を持ちました。北
 島神父様の講話への感謝の気持
 ちとアルゼンチンでの働きを祈
 りながら、「水の心」を手話を

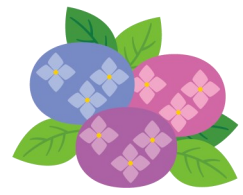
して廃止すべきでは。↓班長会
 で検討する。
 運営委員長より…活動協力へ
 のお礼。今後の無事を祈る。
 9・終わりの祈り 新立師

教会美化・バーベキュー

2017.5.28.



入れて歌い、主を賛美しまし
 た。北島神父様の今後のご活躍を
 お祈り致します。なお、講話
 への支援金として、参加者の皆様
 から寄せられた39,000円は
 神言会宣教事務局へ送金しまし
 た。



教会学校
 潮干狩り
 5・28
 知多半島にて

司祭団より

6月4日

校教師会から要請があった。来年も南山への協力要請があった模様です。

5月28日、教会美化とBBQ

も含めてバッテリーがないような日程を立案する必要がある。前売り…20,000円、当日販売…38,850円 合計55,850円を寄付致しました。ゴミの担当を例年のボーイスカウトからどなたに依頼するか、検討中です。

1974年から8年間南山教会で主任司祭をつとめられた七種神父様のご帰天されました。皆様お祈りくださいますよう、お願いいたします。

事前に教会周辺の樹木の伐採と美化の段取りをしていただいた神父様方に感謝の意を表します。

城東ブロック会議について

5月14日(日) .. 平針教会にて

5月定例会議を開催。

近々に、バザーのキャッチフレーズを募集開始致します。

北島神父様がアルゼンチンより休暇帰国されています。6月11日(日)の9時半ミサの司式をされる予定です。

ボーイスカウト・ガールスカウトの協力にも感謝したい。

7月9日(日) .. 南山教会にて

置を考えております。

7月定例会議を開催予定。

楊神父様がチャーハンを作つて下さる予定です。

報告・連絡事項

5月14日ヨセフ会全体集会

約30名が集まり、無事に終了しました。ありがとうございました。

次回は、美化の日の前にバーベキューの事も含めて事前打ち合わせをしましょう。

新立神父様のご都合が合いませんでしたので、延期致します。

防災訓練について

5月21日インターナショナルミサ

インターナショナルミサへの参加と協力、お疲れ様でした。

車でお越しの方は、1つでも2つでもゴミをお持ち帰り頂くと、大変ありがたいです。

今後の行事予定

5月の行事が沢山あります。5月の行事が沢山あります。

主催者側と南山側に意思の疎通が生じた。当日の詳細の内容確認

女性のために、野菜を焼いて頂くのと嬉しいですよ。

少し早いインフォメーションですが、7月23日救急法講習会、8月27日避難訓練、9月17日敬老の日というように毎月イベントがあります。準備をお願い致します。

各小教区の社会委員について

(ミサ・パーティー)でのやり取りを確認しないと進行に不具合が生

化、BBQとバッテリー。来年バザー実行委員会より

5月28日、AJUわだち祭

お寿司づくりと販売。教会美化、BBQとバッテリー。来年バザー実行委員会より

審議・相談事項

南山の子供たちの参加を教会学

から、インターナショナルミサ

バザーの収益金の分配について

の相談。

の相談。

南山の子供たちの参加を教会学

から、インターナショナルミサ

バザーの収益金の分配について

の相談。

南山でも、教会内だけではなく、理由…工事期間が4か月間の予定で、クリスマスや復活祭に活動が数多くあるので、これをまかしてしまいかも知れない事や、とめていくことを考えたい。代表300人規模を収容可能なミサの者の選定報告を5月22日までにと実施場所などの調整をする必要があるため。

南山教会の収支(お金)ついて、信者1人1人が認識してください、住所がNanzan-cho になっていないので、正しくはMinamiyama-choです。

表者を設定し教区へ連絡済です。

社会委員会の設置は、南山教会で今あるそれぞれの社会系の活動を『極力負傷者を出さない』『私を交換していくことが目的。その窓口を担当してくださる方(委員)を選出する。』

「仕事をしなくてもよい」という意見も出たが、耐震・大規模補修プロジェクトは『命を守る』

「月報…新立主任司祭が広報の方と連携して、主任司祭の思いを伝える場にするとともに、色々な活動の報告の場として活用できるよ」

「5月12日(金)新立主任司祭を歓迎してのマリア会例会を行い、終始和やかな雰囲気となりました。」

「6月2日(金)マリア会例会では一時帰国中の北島神父様に講話を頂く機会を持ちました。北島神父様の講話への感謝の気持ちとアルゼンチンでの働きを祈りながら、

今後の大規模補修の進め方

5月20日(土)に耐震・大規模補修プロジェクト会議を開催した。

「工事内容の案はいくつかありますが、工法や概算費用を踏まえ、後検討していきます。」

「6月25日、信者全体集会」

「各委員会の昨年度の活動状況と本年度の活動方針説明。」

「教区への負担金の増額とその対応」

「財政健全化への提案とディスカッション」

「2018年度の予算シミュレーション」

「2018年度の着工を見送りする。」

「2018年度着工を想定」

聖堂の天井、カトリック会館、鐘楼等の地震対策についての進め方の整理を行った結果について相談する。

「6月25日、信者全体集会」

「各委員会の昨年度の活動状況と本年度の活動方針説明。」

「教区への負担金の増額とその対応」

「財政健全化への提案とディスカッション」

「2018年度の予算シミュレーション」

「2017年度の着工を見送りする。」

「2018年度着工を想定」

今後の方針として、大聖堂・信徒会館・鐘楼の3つの建物について修繕計画を早期に立案し、資金計画を立案することにした。

大聖堂の天井の地震対策は、2017年度の着工を見送りする。

（例…維持献金の増額、外部への設備貸し出しの増額他）

2018年度の着工を見送りする。

（例…維持献金の増額、外部への設備貸し出しの増額他）

財政の状況と支出増への対応

南山教会の収支(お金)ついて、信者1人1人が認識してください、住所がNanzan-cho になっていないので、正しくはMinamiyama-choです。

月報、ホームページの管理

月報…新立主任司祭が広報の方と連携して、主任司祭の思いを伝える場にするとともに、色々な活動の報告の場として活用できるよ

ホームページ…ホームページにプライバシーと決算報告が載ることにについては検討が必要ですが、これから進めて行きます。

各会報告

バザー…神言神学院のオープンハウスと重複しないように、確認をとりまします。

英語ミサ(6月4日 9時半)

合同ミサですが、Romaji Mass Guideが無かったので「ガイドあります」のアナウンスはできません

5月28日知多半島へ潮干狩り

6月17日、五反城教会にてマリ

赤いホルダーに英語の拡大テキスト神父様ご指導による黙想会。

ストプリントをお願いしました。

次回7月2日

南山句会

平成二十九年五月十日



からくりの舞ひたけなわや風薫る

豊子

菜花咲く今日のひと日を努むべし

美智子

ロザリオの祈り友へと著莪の花

せつ子

夏シャツの店主居眠る古本屋

眞喜子

青空に平和ことほぐ鯉幟

とく子

手から手へ祝福伝ふ染卵

襟坐

聖堂の微笑むマリア子供の日

一藤

花は葉に磔像傾しぐ石の坂

義子

薄暑光マリアさまをも包みこみ

令子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

5/28 カタリナ・ラブレ 村橋 瑞
ペトロ ブイ・チャン・ティエン・アン

転入

ようこそ

クララ 末元 眞理 (多摩教会)

結婚

♡ お幸せに ♡

柴田 祐一 ♡ マリア 坂井 聡子

帰天

神の栄光にあずかれますように

5/24 エリザベト 長谷川 操江 (98歳)

教会維持費

5月は1、417,964円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

2017年6月・7月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
6月	聖心の月 4(日)聖霊降臨の主日 11(日)三位一体の主日 18(日)キリストの聖体 23(金)イエスのみ心 24(土)洗者聖ヨハネの誕生 29(木)聖ペトロ・パウロ使徒	4(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 18(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ 25(日)信者全体集会	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)11:00運営委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	13(火)松浦司教着座記念日 25(日)聖ペトロ聖座への献金
7月		23(日)救急法講習会	2(日)11:00 運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)典礼委員会 15(土)10:30子ども部屋 (日)ヨセフ会班長会 16(日)教会学校終業式 22(土)要約筆記付きミサ (日)中高生会終業式	9(日)城東ブロック会議(南山) 16(日)障害者の集い